

1 品種登録の番号及び年月日 第24615号 平成27年12月15日

2 登録品種の属する農林水産植物の種類及び登録品種の名称

Anthurium Schott ANTHAHOTO

3 登録品種の特性の概要

植物体の大きさはやや大、葉身の長さはやや短、葉身の幅は広、葉身の形は狭卵形、葉身の裂片の重なりは離れる、葉身の先端の形は鋭尖形、葉身の表面の緑色の濃淡は濃、葉柄の長さはやや長、花茎の長さはやや長、花茎の緑色の濃淡はやや濃、花茎のアントシアニン着色の強弱は弱、仏炎苞の大きさはやや小、仏炎苞の形は卵形、仏炎苞の裂片の有無は有、仏炎苞の裂片の重なりは離れる、仏炎苞の先端部の形は円形、仏炎苞の先端の形は広鋭尖形、仏炎苞の表面の主な色は145C、仏炎苞の凹凸の強弱は中、仏炎苞の花柄との角度は鋭角、肉穂花序の長さは中、肉穂花序の太さはやや細、肉穂花序の曲がり直、肉穂花序の先細りの強弱は中、開やく直前の肉穂花序の基部の主な色は黄、開やく直前の肉穂花序の先端部の主な色は緑、開やく直後の肉穂花序の基部の主な色は黄、開やく直後の肉穂花序の先端部の主な色は緑である。（カラーチャートはRHSを使用）

出願品種「ANTHAHOTO」は、対照品種「ANTHARYSIA」と比較して、仏炎苞の裂片の重なりが離れるであること、仏炎苞の表面の主な色が145Cであること等で区別性が認められる。対照品種「ANTHILADAH」と比較して、仏炎苞の先端の形が広鋭尖形であること、開やく直後の肉穂花序の基部の主な色が黄であること等で区別性が認められる。

4 育成者権の存続期間 25年

5 品種登録を受ける者の名称及び住所又は居所

Anthura B. V.

Anthuriumweg 14, 2665KV Bleiswijk, The Netherlands

6 登録品種の育成をした者の氏名

Jan van Dijk

7 出願公表の年月日 平成25年5月9日

1 品種登録の番号及び年月日 第24616号 平成27年12月15日

2 登録品種の属する農林水産植物の種類及び登録品種の名称

Anthurium Schott ANTHCARWUP

3 登録品種の特性の概要

植物体の大きさは中、葉身の長さは短、葉身の幅はやや狭、葉身の形は狭卵形、葉身の裂片の重なりは離れる、葉身の先端の形は狭鋭形、葉身の表面の緑色の濃淡は中、葉柄の長さはやや短、花茎の長さは中、花茎の緑色の濃淡は中、花茎のアントシアニン着色の強弱は弱、仏炎苞の大きさは中、仏炎苞の形は卵形、仏炎苞の裂片の有無は有、仏炎苞の裂片の重なりは離れる、仏炎苞の先端部の形は円形、仏炎苞の先端の形は広鋭尖形、仏炎苞の表面の主な色は45B、仏炎苞の凹凸の強弱は中、仏炎苞の花柄との角度は直角、肉穂花序の長さは短、肉穂花序の太さはやや細、肉穂花序の曲がりは弱く内曲、肉穂花序の先細りの強弱は中、開やく直前の肉穂花序の基部の主な色は白～淡黄、開やく直前の肉穂花序の先端部の主な色は黄、開やく直後の肉穂花序の基部の主な色は白～淡黄、開やく直後の肉穂花序の先端部の主な色は黄である。（カラーチャートはRHSを使用）

出願品種「ANTHCARWUP」は、対照品種「ANTHABUDON」と比較して、葉身の先端の形が狭鋭形であること、仏炎苞の横断面の形が平であること等で区別性が認められる。対照品種「アンスブネク」と比較して、仏炎苞の葉に対する位置が極上位であること等で区別性が認められる。対照品種「アンスBNZL」と比較して、仏炎苞の端部の形が円形であること等で区別性が認められる。

4 育成者権の存続期間 25年

5 品種登録を受ける者の名称及び住所又は居所

Anthura B. V.

Anthuriumweg 14, 2665KV Bleiswijk, The Netherlands

6 登録品種の育成をした者の氏名

Jan van Dijk

7 出願公表の年月日 平成25年5月9日

1 品種登録の番号及び年月日 第24617号 平成27年12月15日

2 登録品種の属する農林水産植物の種類及び登録品種の名称

Anthurium Schott ANTHCAXON

3 登録品種の特性の概要

植物体の大きさは中、葉身の長さは短、葉身の幅は中、葉身の形は卵形、葉身の裂片の重なりは離れる、葉身の先端の形は鋭尖形、葉身の表面の緑色の濃淡は中、葉柄の長さはやや短、花茎の長さは中、花茎の緑色の濃淡は中、花茎のアントシアニン着色の強弱は弱、仏炎苞の大きさは中、仏炎苞の形は広卵形、仏炎苞の裂片の有無は有、仏炎苞の裂片の重なりは離れる、仏炎苞の先端部の形は円形、仏炎苞の先端の形は広鋭尖形、仏炎苞の表面の主な色は45B、仏炎苞の凹凸の強弱は中、仏炎苞の花柄との角度は直角、肉穂花序の長さはやや短、肉穂花序の太さはやや細、肉穂花序の曲がり角は直、肉穂花序の先細りの強弱は中、開やく直前の肉穂花序の基部の主な色は白～淡黄、開やく直前の肉穂花序の先端部の主な色は黄、開やく直後の肉穂花序の基部の主な色は白～淡黄、開やく直後の肉穂花序の先端部の主な色は黄である。（カラーチャートはRHSを使用）

出願品種「ANTHCAXON」は、対照品種「アンスブネク」と比較して、仏炎苞の葉に対する位置がやや上位であること等で区別性が認められる。対照品種「ANTHOLYL」と比較して、仏炎苞の凹凸の強弱が中であること等で区別性が認められる。

4 育成者権の存続期間 25年

5 品種登録を受ける者の名称及び住所又は居所

Anthura B. V.

Anthuriumweg 14, 2665KV Bleiswijk, The Netherlands

6 登録品種の育成をした者の氏名

Jan van Dijk

7 出願公表の年月日 平成25年5月9日

1 品種登録の番号及び年月日 第24618号 平成27年12月15日

2 登録品種の属する農林水産植物の種類及び登録品種の名称

Anthurium Schott ANTHCOMEOR

3 登録品種の特性の概要

植物体の大きさはやや小、葉身の長さはやや短、葉身の幅は中、葉身の形は卵形、葉身の裂片の重なりは離れる、葉身の先端の形は鋭尖形、葉身の表面の緑色の濃淡は中、葉柄の長さは中、花茎の長さは中、花茎の緑色の濃淡は中、花茎のアントシアニン着色の強弱は中、仏炎苞の大きさは小、仏炎苞の形は卵形、仏炎苞の裂片の有無は有、仏炎苞の裂片の重なりは離れる、仏炎苞の先端部の形は鈍形、仏炎苞の先端の形は広鋭尖形、仏炎苞の表面の主な色は71B、仏炎苞の凹凸の強弱は中、仏炎苞の花柄との角度は直角、肉穂花序の長さはやや短、肉穂花序の太さは中、肉穂花序の曲がり直、肉穂花序の先細りの強弱は極弱、開やく直前の肉穂花序の基部の主な色は紫、開やく直前の肉穂花序の先端部の主な色は紫、開やく直後の肉穂花序の基部の主な色は紫、開やく直後の肉穂花序の先端部の主な色は紫である。（カラーチャートはRHSを使用）

出願品種「ANTHCOMEOR」は、対照品種「ANTHEBENEX」と比較して、葉身の裂片の有無が有であること、仏炎苞の葉に対する位置がやや上位であること、仏炎苞の表面の主な色が71Bであること等で区別性が認められる。対照品種「ANTHEQIWIK」と比較して、仏炎苞の表面の主な色が71Bであること、仏炎苞の裏面の主な色が76Aであること等で区別性が認められる。

4 育成者権の存続期間 25年

5 品種登録を受ける者の名称及び住所又は居所

Anthura B. V.

Anthuriumweg 14, 2665KV Bleiswijk, The Netherlands

6 登録品種の育成をした者の氏名

Jan van Dijk

7 出願公表の年月日 平成25年5月9日

1 品種登録の番号及び年月日 第24619号 平成27年12月15日

2 登録品種の属する農林水産植物の種類及び登録品種の名称

Anthurium Schott ANTHONAP

3 登録品種の特性の概要

植物体の大きさはやや大、葉身の長さはやや短、葉身の幅はやや広、葉身の形は卵形、葉身の裂片の重なりは離れる、葉身の先端の形は鋭尖形、葉身の表面の緑色の濃淡は中、葉柄の長さは中、花茎の長さは中、花茎の緑色の濃淡は中、花茎のアントシアニン着色の強弱は無又は極弱、仏炎苞の大きさは中、仏炎苞の形は卵形、仏炎苞の裂片の有無は有、仏炎苞の裂片の重なりは離れる、仏炎苞の先端部の形は円形、仏炎苞の先端の形は広鋭形、仏炎苞の表面の主な色は157A、仏炎苞の凹凸の強弱は中、仏炎苞の花柄との角度は直角、肉穂花序の長さはやや短、肉穂花序の太さはやや細、肉穂花序の曲がりは弱く内曲、肉穂花序の先細りの強弱は中、開やく直前の肉穂花序の基部の主な色は赤紫、開やく直前の肉穂花序の先端部の主な色は赤紫、開やく直後の肉穂花序の基部の主な色は赤紫、開やく直後の肉穂花序の先端部の主な色は赤紫である。（カラーチャートはRHSを使用）

出願品種「ANTHCONAP」は、対照品種「パンドラ」と比較して、仏炎苞の表面の主な色が157Aであること等で区別性が認められる。対照品種「ANTHQEOL」と比較して、仏炎苞の表面の主な色が157Aであること、開やく直前の肉穂花序の先端部の主な色が赤紫であること等で区別性が認められる。

4 育成者権の存続期間 25年

5 品種登録を受ける者の名称及び住所又は居所

Anthura B. V.

Anthuriumweg 14, 2665KV Bleiswijk, The Netherlands

6 登録品種の育成をした者の氏名

Jan van Dijk

7 出願公表の年月日 平成25年5月9日

1 品種登録の番号及び年月日 第24620号 平成27年12月15日

2 登録品種の属する農林水産植物の種類及び登録品種の名称

Anthurium Schott ANTHCOTBIK

3 登録品種の特性の概要

植物体の大きさは中、葉身の長さはやや短、葉身の幅は中、葉身の形は狭卵形、葉身の裂片の重なりは離れる、葉身の先端の形は鋭尖形、葉身の表面の緑色の濃淡は濃、葉柄の長さは中、花茎の長さは中、花茎の緑色の濃淡は中、花茎のアントシアニン着色の強弱は無又は極弱、仏炎苞の大きさはやや小、仏炎苞の形は広卵形、仏炎苞の裂片の有無は有、仏炎苞の裂片の重なりは内曲で非接触、仏炎苞の先端部の形は円形、仏炎苞の先端の形は広鋭尖形、仏炎苞の表面の主な色は155A、仏炎苞の凹凸の強弱は弱、仏炎苞の花柄との角度は直角、肉穂花序の長さはやや短、肉穂花序の太さはやや細、肉穂花序の曲がり直、肉穂花序の先細りの強弱は弱、開やく直前の肉穂花序の基部の主な色は白～淡黄、開やく直前の肉穂花序の先端部の主な色は黄、開やく直後の肉穂花序の基部の主な色は白～淡黄、開やく直後の肉穂花序の先端部の主な色は黄である。（カラーチャートはRHSを使用）

出願品種「ANTHCOTBIK」は、対照品種「ANTHQUODO」と比較して、葉身の裂片の重なりが離れるであること、仏炎苞の裂片の重なりが内曲で非接触であること等で区別性が認められる。対照品種「ANTHCAPBUK」と比較して、花茎の太さが細であること、仏炎苞の形が広卵形であること等で区別性が認められる。

4 育成者権の存続期間 25年

5 品種登録を受ける者の名称及び住所又は居所

Anthura B. V.

Anthuriumweg 14, 2665KV Bleiswijk, The Netherlands

6 登録品種の育成をした者の氏名

Jan van Dijk

7 出願公表の年月日 平成25年5月9日

1 品種登録の番号及び年月日 第24621号 平成27年12月15日

2 登録品種の属する農林水産植物の種類及び登録品種の名称

Anthurium Schott ANTHESAX

3 登録品種の特性の概要

植物体の大きさはやや大、葉身の長さはやや短、葉身の幅はやや広、葉身の形は卵形、葉身の裂片の重なりは離れる、葉身の先端の形は鋭尖形、葉身の表面の緑色の濃淡は中、葉柄の長さはやや長、花茎の長さはやや長、花茎の緑色の濃淡は中、花茎のアントシアニン着色の強弱は強、仏炎苞の大きさはやや小、仏炎苞の形は卵形、仏炎苞の裂片の有無は有、仏炎苞の裂片の重なりは離れる、仏炎苞の先端部の形は鈍形、仏炎苞の先端の形は広鋭尖形、仏炎苞の表面の主な色は65C、仏炎苞の凹凸の強弱は弱、仏炎苞の花柄との角度は鈍角、肉穂花序の長さは中、肉穂花序の太さはやや細、肉穂花序の曲がり直、肉穂花序の先細りの強弱は弱、開やく直前の肉穂花序の基部の主な色は紫、開やく直前の肉穂花序の先端部の主な色は紫、開やく直後の肉穂花序の基部の主な色は紫、開やく直後の肉穂花序の先端部の主な色は紫である。（カラーチャートはRHSを使用）

出願品種「ANTHESAX」は、対照品種「ANTHIEUW」と比較して、仏炎苞の表面の主な色が65Cであること等で区別性が認められる。対照品種「ANTHEQIWIK」と比較して、仏炎苞の葉に対する位置が極上位であること、仏炎苞の表面の主な色が65Cであること等で区別性が認められる。

4 育成者権の存続期間 25年

5 品種登録を受ける者の名称及び住所又は居所

Anthura B. V.

Anthuriumweg 14, 2665KV Bleiswijk, The Netherlands

6 登録品種の育成をした者の氏名

Jan van Dijk

7 出願公表の年月日 平成25年5月9日

1 品種登録の番号及び年月日 第24622号 平成27年12月15日

2 登録品種の属する農林水産植物の種類及び登録品種の名称

Anthurium Schott ANTHIEUW

3 登録品種の特性の概要

植物体の大きさはやや大、葉身の長さはやや短、葉身の幅は中、葉身の形は狭卵形、葉身の裂片の重なりは離れる、葉身の先端の形は鋭尖形、葉身の表面の緑色の濃淡は中、葉柄の長さはやや長、花茎の長さは長、花茎の緑色の濃淡は淡、花茎のアントシアニン着色の強弱は強、仏炎苞の大きさはやや小、仏炎苞の形は卵形、仏炎苞の裂片の有無は有、仏炎苞の裂片の重なりは離れる、仏炎苞の先端部の形は鈍形、仏炎苞の先端の形は鋭尖形、仏炎苞の表面の主な色は70B、仏炎苞の凹凸の強弱は弱、仏炎苞の花柄との角度は直角、肉穂花序の長さは中、肉穂花序の太さはやや細、肉穂花序の曲がりは直、肉穂花序の先細りの強弱は弱、開やく直前の肉穂花序の基部の主な色は紫、開やく直前の肉穂花序の先端部の主な色は紫、開やく直後の肉穂花序の基部の主な色は紫、開やく直後の肉穂花序の先端部の主な色は紫である。（カラーチャートはRHSを使用）

出願品種「ANTHIEUW」は、対照品種「ANTHESAX」と比較して、仏炎苞の表面の主な色が70Bであること等で区別性が認められる。対照品種「ANTHEQIWIK」と比較して、仏炎苞の葉に対する位置が極上位であること、仏炎苞の表面の主な色が70Bであること等で区別性が認められる。

4 育成者権の存続期間 25年

5 品種登録を受ける者の名称及び住所又は居所

Anthura B. V.

Anthuriumweg 14, 2665KV Bleiswijk, The Netherlands

6 登録品種の育成をした者の氏名

Jan van Dijk

7 出願公表の年月日 平成25年5月9日

1 品種登録の番号及び年月日 第24623号 平成27年12月15日

2 登録品種の属する農林水産植物の種類及び登録品種の名称

Anthurium Schott ANTHILADAH

3 登録品種の特性の概要

植物体の大きさはやや大、葉身の長さは中、葉身の幅は広、葉身の形は狭卵形、葉身の裂片の重なりは離れる、葉身の先端の形は鋭尖形、葉身の表面の緑色の濃淡は中、葉柄の長さは長、花茎の長さはやや長、花茎の緑色の濃淡は中、花茎のアントシアニン着色の強弱は中、仏炎苞の大きさは中、仏炎苞の形は卵形、仏炎苞の裂片の有無は有、仏炎苞の裂片の重なりは内曲で非接触、仏炎苞の先端部の形は鈍形、仏炎苞の先端の形は鋭形、仏炎苞の表面の主な色は145C、仏炎苞の凹凸の強弱は中、仏炎苞の花柄との角度は直角、肉穂花序の長さは中、肉穂花序の太さは中、肉穂花序の曲がりは弱く内曲、肉穂花序の先細りの強弱は強、開やく直前の肉穂花序の基部の主な色は桃、開やく直前の肉穂花序の先端部の主な色は褐、開やく直後の肉穂花序の基部の主な色は桃、開やく直後の肉穂花序の先端部の主な色は褐である。（カラーチャートはRHSを使用）

出願品種「ANTHILADAH」は、対照品種「ANTHQEOL」と比較して、葉柄の長さが長であること、仏炎苞の裂片の重なりが内曲で非接触であること等で区別性が認められる。対照品種「ANTHAHOTO」と比較して、仏炎苞の裂片の重なりが内曲で非接触であること、開やく直後の肉穂花序の基部の主な色が桃であること等で区別性が認められる。

4 育成者権の存続期間 25年

5 品種登録を受ける者の名称及び住所又は居所

Anthura B. V.

Anthuriumweg 14, 2665KV Bleiswijk, The Netherlands

6 登録品種の育成をした者の氏名

Jan van Dijk

7 出願公表の年月日 平成25年5月9日

1 品種登録の番号及び年月日 第24624号 平成27年12月15日

2 登録品種の属する農林水産植物の種類及び登録品種の名称

Anthurium Schott ANTHILDIL

3 登録品種の特性の概要

植物体の大きさはやや大、葉身の長さはやや短、葉身の幅はやや広、葉身の形は卵形、葉身の裂片の重なりは内曲で非接触、葉身の先端の形は鋭尖形、葉身の表面の緑色の濃淡は濃、葉柄の長さは中、花茎の長さはやや長、花茎の緑色の濃淡は中、花茎のアントシアニン着色の強弱は極強、仏炎苞の大きさは中、仏炎苞の形は卵形、仏炎苞の裂片の有無は有、仏炎苞の裂片の重なりは離れる、仏炎苞の先端部の形は鈍形、仏炎苞の先端の形は広鋭尖形、仏炎苞の表面の主な色は187A、仏炎苞の凹凸の強弱は強、仏炎苞の花柄との角度は鋭角、肉穂花序の長さはやや長、肉穂花序の太さは中、肉穂花序の曲がり直、肉穂花序の先細りの強弱は中、開やく直前の肉穂花序の基部の主な色は紫、開やく直前の肉穂花序の先端部の主な色は紫、開やく直後の肉穂花序の基部の主な色は紫、開やく直後の肉穂花序の先端部の主な色は紫である。（カラーチャートはRHSを使用）

出願品種「ANTHILDIL」は、対照品種「アンサコキソ」と比較して、花茎のアントシアニン着色の強弱が極強であること、開やく直後の肉穂花序の基部の主な色が紫であること等で区別性が認められる。対照品種「RIJN200449」と比較して、花茎のアントシアニン着色の強弱が極強であること、開やく直後の肉穂花序の基部の主な色が紫であること等で区別性が認められる。

4 育成者権の存続期間 25年

5 品種登録を受ける者の名称及び住所又は居所

Anthura B. V.

Anthuriumweg 14, 2665KV Bleiswijk, The Netherlands

6 登録品種の育成をした者の氏名

Jan van Dijk

7 出願公表の年月日 平成25年5月9日

1 品種登録の番号及び年月日 第24625号 平成27年12月15日

2 登録品種の属する農林水産植物の種類及び登録品種の名称

Anthurium Schott ANTHILZOR

3 登録品種の特性の概要

植物体の大きさは中、葉身の長さはやや短、葉身の幅はやや広、葉身の形は卵形、葉身の裂片の重なりは内曲で非接触、葉身の先端の形は鋭尖形、葉身の表面の緑色の濃淡は中、葉柄の長さはやや長、花茎の長さは中、花茎の緑色の濃淡は中、花茎のアントシアニン着色の強弱は強、仏炎苞の大きさはやや小、仏炎苞の形は卵形、仏炎苞の裂片の有無は有、仏炎苞の裂片の重なりは離れる、仏炎苞の先端部の形は鈍形、仏炎苞の先端の形は鋭尖形、仏炎苞の表面の主な色は51B、仏炎苞の凹凸の強弱は弱、仏炎苞の花柄との角度は鈍角、肉穂花序の長さはやや短、肉穂花序の太さは中、肉穂花序の曲がりには直、肉穂花序の先細りの強弱は極弱、開やく直前の肉穂花序の基部の主な色は赤紫、開やく直前の肉穂花序の先端部の主な色は赤紫、開やく直後の肉穂花序の基部の主な色は赤紫、開やく直後の肉穂花序の先端部の主な色は赤紫である。（カラーチャートはRHSを使用）

出願品種「ANTHILZOR」は、対照品種「パンドラ」と比較して、葉身の裂片の重なりが内曲で非接触であること、花茎のアントシアニン着色の強弱が強であること等で区別性が認められる。対照品種「ANTHILADAH」と比較して、花茎のアントシアニン着色の強弱が強であること、仏炎苞の表面の主な色が51Bであること等で区別性が認められる。

4 育成者権の存続期間 25年

5 品種登録を受ける者の名称及び住所又は居所

Anthura B. V.

Anthuriumweg 14, 2665KV Bleiswijk, The Netherlands

6 登録品種の育成をした者の氏名

Jan van Dijk

7 出願公表の年月日 平成25年5月9日

1 品種登録の番号及び年月日 第24626号 平成27年12月15日

2 登録品種の属する農林水産植物の種類及び登録品種の名称

Anthurium Schott ANTHOPOC

3 登録品種の特性の概要

植物体の大きさはやや大、葉身の長さは中、葉身の幅は広、葉身の形は卵形、葉身の裂片の重なりは離れる、葉身の先端の形は鋭尖形、葉身の表面の緑色の濃淡は中、葉柄の長さはやや長、花茎の長さは長、花茎の緑色の濃淡は中、花茎のアントシアニン着色の強弱は強、仏炎苞の大きさは中、仏炎苞の形は卵形、仏炎苞の裂片の有無は有、仏炎苞の裂片の重なりは内曲で非接触、仏炎苞の先端部の形は鈍形、仏炎苞の先端の形は広鋭尖形、仏炎苞の表面の主な色は52B、仏炎苞の凹凸の強弱は中、仏炎苞の花柄との角度は直角、肉穂花序の長さはやや長、肉穂花序の太さは中、肉穂花序の曲がりは弱く内曲、肉穂花序の先細りの強弱は弱、開やく直前の肉穂花序の基部の主な色は赤紫、開やく直前の肉穂花序の先端部の主な色は赤紫、開やく直後の肉穂花序の基部の主な色は赤紫、開やく直後の肉穂花序の先端部の主な色は赤紫である。（カラーチャートはRHSを使用）

出願品種「ANTHOPOC」は、対照品種「ANTHAPYQ」と比較して、花茎のアントシアニン着色の強弱が強であること、仏炎苞の表面の主な色が52Bであること等で区別性が認められる。対照品種「ANTALJA」と比較して、花茎のアントシアニン着色の強弱が強であること、仏炎苞の形が卵形であること、仏炎苞の表面の主な色が52Bであること等で区別性が認められる。

4 育成者権の存続期間 25年

5 品種登録を受ける者の名称及び住所又は居所

Anthura B. V.

Anthuriumweg 14, 2665KV Bleiswijk, The Netherlands

6 登録品種の育成をした者の氏名

Jan van Dijk

7 出願公表の年月日 平成25年5月9日

1 品種登録の番号及び年月日 第24627号 平成27年12月15日

2 登録品種の属する農林水産植物の種類及び登録品種の名称

Anthurium Schott ANTHUHOB

3 登録品種の特性の概要

植物体の大きさはやや大、葉身の長さは中、葉身の幅は広、葉身の形は狭卵形、葉身の裂片の重なりは離れる、葉身の先端の形は鋭尖形、葉身の表面の緑色の濃淡は中、葉柄の長さはやや長、花茎の長さはやや長、花茎の緑色の濃淡は中、花茎のアントシアニン着色の強弱は弱、仏炎苞の大きさはやや小、仏炎苞の形は卵形、仏炎苞の裂片の有無は有、仏炎苞の裂片の重なりは内曲で非接触、仏炎苞の先端部の形は円形、仏炎苞の先端の形は広鋭尖形、仏炎苞の表面の主な色は39B、仏炎苞の凹凸の強弱は中、仏炎苞の花柄との角度は直角、肉穂花序の長さは中、肉穂花序の太さはやや細、肉穂花序の曲がりは弱く内曲、肉穂花序の先細りの強弱は中、開やく直前の肉穂花序の基部の主な色は白～淡黄、開やく直前の肉穂花序の先端部の主な色は緑、開やく直後の肉穂花序の基部の主な色は白～淡黄、開やく直後の肉穂花序の先端部の主な色は緑である。（カラーチャートはRHSを使用）

出願品種「ANTHUHOB」は、対照品種「ピンクチャンピオン」と比較して、仏炎苞の表面の主な色が39Bであること等で区別性が認められる。対照品種「ANTALJA」と比較して、仏炎苞の表面の主な色が39Bであること等で区別性が認められる。

4 育成者権の存続期間 25年

5 品種登録を受ける者の名称及び住所又は居所

Anthura B. V.

Anthuriumweg 14, 2665KV Bleiswijk, The Netherlands

6 登録品種の育成をした者の氏名

Jan van Dijk

7 出願公表の年月日 平成25年5月9日

1 品種登録の番号及び年月日 第24628号 平成27年12月15日

2 登録品種の属する農林水産植物の種類及び登録品種の名称

Brachyscome Cass. BELLISSIMA WHITE

3 登録品種の特性の概要

草型は叢生、草姿（叢生型品種に限る。）は斜上、草丈は極低、株の幅は狭、葉の長さはやや短、葉の幅はやや狭、葉の周縁の形は切れ込み、葉の切れ込みの位置（切れ込み葉品種に限る。）は全体、葉の切れ込みの深さ（切れ込み葉品種に限る。）は2/3以上、葉裂片の形（切れ込み葉品種に限る。）は線形、葉裂片の先端の形（切れ込み葉品種に限る。）は尖形、葉裂片の二次切れ込みの強弱（切れ込み葉品種に限る。）は無又は極弱、つぼみの色は27C、頭花の葉に対する位置は同位、頭花の直径は小、頭花の直径に対する花盤の直径は1/3未満、頭花の舌状花の数はやや少、花盤の主な色（管状花の開花前）は143C、花盤の主な色（管状花の開花後）は7A、舌状花の長さは短、舌状花の幅はやや狭、舌状花の形は長円形、舌状花の開花直後の表面の主な色はNN155D、舌状花の開花盛期の表面の主な色はNN155Dである。（カラーチャートはRHSを使用）

出願品種「BELLISSIMA WHITE」は、対照品種「Bonbraho」と比較して、葉の幅がやや狭であること、つぼみの色が27Cであること、頭花の舌状花の数がやや少であること等で区別性が認められる。対照品種「ピラボンムーンライト」と比較して、葉裂片の二次切れ込みの強弱（切れ込み葉品種に限る。）が無又は極弱であること、花盤の主な色（管状花の開花後）が7Aであること等で区別性が認められる。

4 育成者権の存続期間 25年

5 品種登録を受ける者の名称及び住所又は居所

LAIST MICHAL
Hatamr 31 Bnei Atarot 6099100, Israel

6 登録品種の育成をした者の氏名

LAIST MICHAL

7 出願公表の年月日 平成25年8月30日

1 品種登録の番号及び年月日 第24629号 平成27年12月15日

2 登録品種の属する農林水産植物の種類及び登録品種の名称

Prunus avium (L.) L. 甲斐オウ果6 (かいたか6)

3 登録品種の特性の概要

樹勢はやや弱、樹姿は開張、節間長は短、枝の太さは中、葉身の長さは中、葉身の長さ／幅は中、葉身の長さ／葉柄の長さは中、花の直径は中、花弁の形は円形、果実の大きさは中、果実の形は心臓形、果頂部の形は凹、果実の縫合線の明瞭度は不明瞭、果柄の長さは中、果皮の色は淡赤、果肉の色はクリーム、果実の硬さはやや軟、果実の酸味は中、果実の甘味は中、果汁の多少は多、核の大きさは中、核の形は広楕円形、開花始期は極早、収穫始期はかなり早である。

出願品種「甲斐オウ果6」は、対照品種「豊錦」と比較して、葉柄の長さがやや短であること、果柄の長さが中であること等で区別性が認められる。対照品種「高砂」と比較して、果柄の長さが中であること、開花始期が極早であること等で区別性が認められる。

4 育成者権の存続期間 30年

5 品種登録を受ける者の名称及び住所又は居所

山梨県

山梨県甲府市丸の内一丁目6番1号

6 登録品種の育成をした者の氏名

新谷勝広 竹腰優 猪股雅人 三宅正則 富田晃 雨宮秀仁 手塚誉裕 竹下政春
飯島光夫 佐藤明子 櫻井健雄

7 出願公表の年月日 平成27年3月2日